
ウルトラマンゼロ!仮面ライダーオーズ&アギト!スイートプリキュア 韶け!三つの明日!!

R × P

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ウルトラマンゼロ！仮面ライダー オーズ&アギト・スイートプリキュア 韶け！三つの明日！－

【Zコード】

Z9265Z

【作者名】

R×P

【あらすじ】

渡たちが帰つてから数ヶ月がたち狼たちはそれぞれ新しい学年になつた。

そして空間を使ってポセイドンドライバーとそのメダルを盗んだ男を追つて映司たちが加音町にやつてきた！－

今明日の未来を賭けた新たな戦いが巻き起こる！－

新たな出会いとアウノウンの出現!! オーナー登場!!

予定より早く第一話が書きあがり早めに連載しま～ス!!

新たな戦いの幕開け…楽しんでください!!

新たな出会いとアウノウンの出現！！オーナーブリターンズ！！

「ここは加音町…あの激闘から数ヶ月がたち春に変わつて響達は中学生になり、アコは四年生になつていた。

狼「ふああああ～いい天気だな～！！」

校内の原っぱで大の字に伸びてのんびりしている少年がいる。

彼の名は犬上狼いぬがみわと云い また彼はこの世界を救つた英雄の一人ウルトラマンゼロであり仮面ライダーアギトである！！

そこにあの戦いが終わつた後告白して以降付き合つてゐるエレンがやつて來た。

エレン「あ～いた～～～狼くんもうすぐ授業始まるよ？」

笑顔で言つエレン。くう～～～かわいい！！！

狼「お～マジ！じゃあ行きますか～～！」

狼は起き上がり頭をボリボリとかきながらエレンと一緒に教室に向かつた。

同じ時刻…浜辺

【バチバチバチ】

突然浜辺の上空に空間が広がり三枚のコアメダルを丸いベルトポセイドンドライバーを装備した金髪でピアスをした男が現れたのだ。その男は浜辺に降り立ち

？「フフフ～～やつと…俺は～～俺は～～また戦えるぜえええ～～！」

不気味に笑うと

？「さてまずは～～～この町のことを調べるか…あ～腹減つた～～～！」

そつと男は去つて行つた。

同時刻の広場

三台のライドベンダーに乗つた男達が丁度この町に到着し男3人がヘルメットを外す。

後藤「こここの何所かに… アイツが現れるはずなんだが… つて火野！」

！伊達さん！！」

この男は後藤 慎太郎といい元鴻上ファウンデーション所属のライドベンダー隊第1小隊長であり里中エリカの元秘書補佐である。現在は刑事に復職しているが今回は特別任務の為バースの装着者に復帰し今回の任務を引き受けたのだ。

映司「おおお！！！凄い！！！大きな時計塔だ！！！」

時計塔を見てはしゃいでいる男は火野 映司といい仮面ライダー オーズとしてグリードと戦い現在は鴻上ファウンデーションに研究協力員として所属し、割れてしまつたアンクのコアメダルを元に戻す手掛けりを求めている。

また彼はフォーゼと共に戦ったあの戦いの後再びコアメダルを取り戻しましたオーズに変身が出来るようになつたのである。

伊達「すっげーな！！こんな時計塔海外以外で初めて見たぜ！！よし！！火野！！後藤ちゃん！！記念写真撮ろうぜ！！」

そう言ってカメラを何所からも無く取り出した男は伊達 明！！医師で、かつては世界各国で活動を行う医療チームに所属し「戦う医者」の異名を取つており初代バースでもある。

後藤は呆ながら

後藤「俺たちは観光に着たんじや有りません！！アイツを追つて来たんですよ！！」

そう彼らは先ほどの男を追つて来たのだ。

映司「わかつてますよ さて冗談はコレ位にして… 早くポセイドンのメダル使つたその人探さないと！！！」

映司は笑いながらも真面目な顔で言つ

後藤「取りあえず全員バラバラで捜索しましょう。その方が早く捜査できますし…」

伊達と映司は領き再びエンジンを駆けてバラバラに行動を開始し始めた。

一方の俺たちは学校が丁度昼休みで弁当を食べ終えあの戦いの終わった後に入手したティラノザウルスが描かれた紫のメダルを取り出してしげしげと眺めていた。

エレン「結局そのメダルってなんなのかな？」

エレンは不思議な物を見つめる目でメダルを見る

響「ううん！！もしかしてスッゴイお宝だつたりして？」　目がキラキラ

奏「それにしても…なんで恐竜なんて描かれているのかしら？」

彼女は少し困惑した表情で言う。

狼「まあ！考えたって仕方ねえぜ！！それよりこの後放課後…うん！！！！！」

突然頭に見た事無い怪人のイメージが出てきた。俺がアギトの力を入手時には無かつたが最近敵を感知できるようになつたのだ！！

エレン「狼くん？」

心配そうに聞くエレン

狼「敵だ…」

狼がつぶやきみんながえっととなる

狼「見た事無い怪人が町の建物の間に現れた！！行くぞ…！」

そう言つて俺は走る！！

響「え…！ちょっと…！…まつてよ～…！」

3人は狼を追いかける。

一方建物の間の道ではジャガーミたいな怪人が親子を襲う数前だった

男性「うわああああ…！！！助けてくれ…！！！」

子ども「パパ、怖いよ、うわーん！」

2人が固まつてしまつて動けない！！だがその時！！

？「やめろー！！！」

一台のバイクが体当たりをして怪人を吹き飛ばす！！その人物はすぐヘルメットを外してバイクからおりた！！それは…火野映司だつた！！

映司「早く逃げてください！！コイツは俺が引きつけます！！」

男性「たつたすかつたー！！ありがとう！！」

親子が頷いてあわてて逃げる。

？「貴様…欲も邪魔を…！！！」

怪人が立ち上がりなんと喋つたのだ！！

映司「喋れるのか！！何故人を襲つたんだ！！」

映司は驚きながらも怒りで叫んで聞く

怪人「我が主の命令でアギトの力の持つ者を抹殺…それが俺の命令だ…」

不気味に静かに言う怪人

コレを聞いた映司？

映司「【アギトの力？なんの事だ？】命令で人の命を狙うなんて…そんな事させない！！」

映司はオーブズドライバーを取り出して腰にあてオーカテドラルが装着される。

そして大切な仲間の一人…泉 比奈からもらつたメダルホルダーから赤黄緑のカラフルなメダル…コアメダルを取り出す。

怪人「うん？」

映司「助けられる人が目の前にいたら俺は必ず助ける！！あの時から…後悔しないようについて…」

ドライバーにタカコアを右の穴にバッタコアを左の穴入れ…

映司「決めたんだー！！」

最後のトラコアを真ん中にいれてオーカテドラルを斜めに傾けオスキヤナーを取り外し変身ポーズを決めながら一気にスキヤンする

！！

映司「変身！！」

【タカ・トラ・バッタ！タ・ト・バ！タトバ！タ・ト・バ】

不思議な歌が流れメダル状の塊の中のタカ・トラ・バッタの三つの動物が頭体下半身で止まり合体してリングになり真ん中で紋章を…胸部に円形のプレーント・オーラングサークルを作り一気に変身が完了する…！

その姿は頭が赤 体が黄 下半身が緑だった

そう…！彼は仮面ライダー オーズに変身したのだ…！

怪人「む…！貴様もアギトの力を？」

怪人が驚きながら聞いてくるがオーズが首を振り答える

オーズ「俺は…オーズ…！仮面ライダー オーズさ…！…行くぞ…！」
メダジヤリバーを取り出して走りだす…！

ジャガーの怪人は剣を空中から取り出し同じく走りだして互いに斬り合い始める…！

オーズ「ハ…！…う…！…たああああ…！」

怪人「う…！…フン…！」

互いに一步も譲らず戦つたが…力はほとんど互角だった。

怪人「オーズ…なかなかやるな…」

怪人がつぶやく

オーズ「そつちもね…お前は何者なんだ…！」

オーズ聞くと

怪人「名前は無い…呼びたければそうだな…人間が名づけたアウノウンとか言う名で呼べ…」

オーズ「アウノウン…？」

オーズが困惑すると…！！

ジャガー「余所見をするな……」

襲い掛かつてきた

オーズ「く……」

受け止めるオーズだつたが遂に蹴り飛ばされてしまった……

オーズ「うわあああ……」

そしてオーズは壁に叩きつけられてしまつ……

オーズ「く……このままじゃ……こうなつたら……」

オーズは立ち上がり素早くメダルをサイドココロとゾウに変えてスキヤンする……

【サイ・ゴリラ・ゾウ・サゴーゾ・ボン ボン サゴーゾ・ボボン】

太鼓のテンポのよつな歌と共にオーズは白と銀の体と赤い目を持つ怪力と重力捜査に優れるコンボの一つ重量系コンボのサゴーゾにコンボチェンジする……

オーズ「うおおおおおおおおおおおおおおおおおおおお……」

オーズその場でドラミングを始める

するとジャガーが驚き……空中に浮き身動きが取れなくなる。

ジャガー「ぐあああああ……コレは……」

オーズ「よし……一気に決めるぞ……」

オーズがドラミングをやめてジャガー落ちて来たタイミングでスキヤナーで再スキヤンする……

【スキヤニングチャージ……】

オーズ「は……」

オーズはその場で跳躍し、着地の衝撃と共に発生した波紋状の銀色の3つのオーリングで標的を地面に捕縛して……

オーズ「せいやあああああああ……」

手元に引き寄せて頭突き・フックパンチを同時に叩き込む。

ジャガー「ぐわあああああ……」

【ドカーン！】

アウノウンはそのまま爆死した

命中後、破壊された地面は修復されてオーズは？

オーズ「はあ！はあ！！だいぶコンボも疲れなくなつてきたな…」今までの経験からだいぶオーズに慣れた為か変身が解除されなかつた。

オーズ「さてと…伊達さんたちと合流…ぐわあああ…！」いきなり後ろから同類のジャガーが襲い掛かってきたのだ…！オーズはまた吹き飛ばされ地面に倒れる。

オーズ「くそ…後ろからなんて卑怯…つてえ…！」

なんと後から五体も出てきたのだ…！

ジャガー2「貴様…よくも俺の兄を…！」

ジャガー3「許さん…！」

ジャガー4「殺す…！」

さすがのオーズもまいつてしまつた…！！

オーズ「どうしよう…ガタキリバならいけるけど…ここだと狭いし…どうすれば……うん？」

足音が近づいてくる…！

オーズ「もしかして…後藤さん？」

だが正体は四人の中学生と小学生一人だつた…！…そう…！…それは狼と響たちだつたのだ…！

ちなみにアコはこつそり抜け出して來たらしい…

オーズ「…君たちは……！」

驚きオーズが叫ぶ

オーズ「ここは危険だ…早く逃げて…！」

だが狼が笑顔で答える

狼「大丈夫さ！！後は任せてくれよ…えーと？」

響「もしかしてオーズ？」

とオーズに聞き彼は頷いて驚く

オーズ「どうして俺の事を？あれ？アウノウン達が？」

アウノウンたちは一斉に狼に振り向き驚き恐怖で怯えていた
ジャガー「貴様は！！！まさか…そんな…」

狼「そのまさかさ！！みんな行くぞ…！…よく分からぬ敵だけど
…今はやるしかねえ…！」

奏「オツケ～」

狼が素早く腕を複雑に動かすと腰に光のベルト…オルタリングが出
現し狼は右手をゆっくり前に突き出して…叫ぶ…！

狼「変身…！」

オルタリングの横のスイッチを押す…！

【ブウーン…！…】

突風のような音がして狼の体が黒…アーマーが金と銀と黒…最後に
赤い目と金の角を持つ姿に変わる…！

狼は仮面ライダーアギトに変身したのだ…！

アギト「ハ…！」

決めポーズをするアギトを見たオーズは…

オーズ「変身した…？つそお……」
つと驚く

そして響たちもキュアモジュールを取り出し

四人「レツツプレイ！プリキュア・モジュレーション」

メロディ「「爪弾くは荒ぶる調べ！キュアメロディ！」
リズム「「爪弾くはたおやかな調べ！キュアリズム！」
ビート「「爪弾くは魂の調べ！キュアビート！」
ミューズ「爪弾くは女神の調べ！キュアミューズ！」
四人「届け、4人の組曲！スイートプリキュア！」
ポーズを華麗に決める4人！！

オーズ「え～！！」この子たちも～！！一体どうなってるんだあ～！
！」

またしても驚いて腰を抜かすオーズ

そうこの瞬間から新しい戦いが、俺たちの新たな出会いが始まった
んだ…

続く！！

新たな出会いとアウノウンの出現!! オーズリーンズ!! (後書き)

次回はライダーとプリキュアの共闘!! そしてゼロの登場です!!
ではまた次回にで~!!

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9265z/>

ウルトラマンゼロ!仮面ライダーオーズ&アギト!スイートプリキュア 韶け!三

2011年12月28日23時46分発行